

指定管理者評価シート

事業名	こども劇場管理運営	所管課(電話番号)	子ども未来局子ども育成部 子どもの権利推進課(211-2942)
-----	-----------	-----------	-------------------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市こどもの劇場「やまびこ座」	所在地	東区北27条東15丁目
開設時期	昭和63年6月	延床面積	1495.37㎡
目的	人形劇、児童劇等の制作及び発表と制作団体の育成を通じて青少年の情操のかん養を図り、もってその健全な育成その他活動に資する。		
事業概要	人形劇等の制作・発表の場の提供、人形劇等の制作に関する指導ならびに資料収集・提供情報、講演会・展示会・講座		
主要施設	ホール、会議室(1室)、研修室(1室)、美術工作室(1室)、ロビー・展示室		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：札幌市こどもの劇場「やまびこ座」は、全国でも数少ない子ども専用劇場として、子どもを対象とした人形劇、児童劇等を専門に取り扱う施設であるという特殊性から、指定管理者には貸館業務にとどまらず、専門的知識や豊富な経験を有する適正な人材を確保し、指定管理者自らが人形劇、児童劇等の制作及び発表を行うこと、並びに担い手である制作団体を育成することが求められ、特に担い手の育成については専門性と継続した取組が不可欠であるため。		
指定単位	施設数：1 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	施設維持管理業務、事業の計画・実施業務、施設の使用承認業務等		
3 評価単位	施設数：1 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 平成29年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼ 札幌市こどもの劇場やまびこ座は、「人形劇、児童劇等の児童文化の創造の場として、より優れた子どものための舞台芸術を提供し、子どもたちの情操のかん養を図り、健全な育成に資する」という理念のもと、児童文化の創造拠点としての役割を明確にし、子どもの多様な舞台体験の拡充及び制作団体の育成を基本方針として策定した。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼ 市民のための劇場づくり、利用者の目線での施設運営を基本方針とし、誰でも、いつでも利用することが可能なオープンで温かみのある職員対応を心掛けた。また、制作団体に対しては、施設をいつでも利用可能な状態にし、作品に対してのアドバイスを常時行った。</p>	<p>札幌市こどもの劇場やまびこ座が設置された理念に基づき、基本方針を策定した。市民にとっての劇場のあり方と、地域における劇場の役割を具体化した。また、当方針を達成するため全職員が意識を1つにして、親しみやすい温かな雰囲気の劇場作りに努めた。結果、利用者アンケート等にて、高評価を得ることができた。</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%; background-color: #ffff00;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> <p>施設の設置目的や施設の役割等踏まえた基本的な方向性が明確化された方針となっている。 また、施設の特徴を踏まえ、平等利用とともに、専門性を供えながらも市民目線のサービス提供が積極的になされている。 今後も施設の設置目的に基づいた施設管理を継続して行っていくこと。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

<p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼ 環境行動計画を策定し、6ヶ月ごとにチェックを行っている。夏場における冷房の節約に取り組みや、冬場においては昨年度と同様にロードヒーティングの設定調整を随時行い、電気量の節約、環境への配慮を行った。</p>	<p>環境行動計画に基づき、各エネルギー(電気、水道、ガス等)の節約し施設運営に努めた。また、クールビズやウォームビズ及びごみの減量など環境を意識した取組みを行うことができた。</p>	<p>策定した計画に基づき節電等への取り組みが行われている。</p>
<p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>▼ 統括責任者1名配置。 ▼ 事務分掌、緊急連絡体制等を定めた。</p> <p>(1)派遣研修(劇場運営関係) 全国、海外人形劇関係機関及び児童文化関係施設との連携を密にすることで、職員の専門知識向上に努めた。 ・被災地支援活動「福島県への継続文化支援活動」における職員派遣 実施期間8/30～9/11(職員4名、他課職員4名) 実施期間10/30～11/6(職員4名、他課職員4名) 実施期間2/26～3/5(職員3名) ・2017年度NPO法人日本ウニマ総会 実施期間5/20～5/22(職員2名) ・いいだ人形劇フェスタ2017 実施期間7/31～8/7(職員 4名) ・第8回砂川人形劇フェスティバル 実施日 3/18(職員 2名) ・旭川ゆめテント 実施日 3/24(職員 1名) ・プロデュース人形劇巡回公演(岩見沢) 実施日 3/25(職員 2名) ・「まなび塾」参加 実施日 10/5、12/23(職員 5名)</p> <p>(2)公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会職員研修 ・危機管理研修 ・階層別研修(係長研修等) ・自己啓発研修 ・実務研修</p>	<p>札幌市こどもの劇場やまびこ座の管理運営業務を適切に行うため、人形劇や児童劇、舞台、照明、音響に係る専門的職員をはじめ管理に係る職員を適正に配置し、組織整備を行った。</p> <p>劇場職員として専門性を高めるため、児童文化関係施設や各種事業に職員を派遣し、職員一人一人が創造者として利用者と関わるべく多様な場にて自己研鑽に努めた。</p> <p>公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会職員研修計画に基づき、各職員資質向上へ向けて研修を実施した。また、外部研修にも参加し視野の拡大を図った。</p>	<p>管理運営組織は適性に確立されており、緊急時の体制も整っている。 派遣研修に関しては、子どものための専用劇場という特異な施設であることを念頭においた十分な事業が実施されている。 加えて、指定管理者としてふさわしい資質を備えた職員育成のための研修についても実施されている。 今後も継続して、職員の資質を向上させ、利用者満足等に反映されるように努めること。</p>
<p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <p>▼ 月1回の定例的な職員会議を実施し、情報の共有及び業務の改善、事業の見直しを行った。また、日常的に情報を共有できるよう、円滑なコミュニケーションに努めた。 ▼ 日常業務の見直しを全職員で行い、施設の安全性の再確認、また、役割分担を行うことで業務の効率化を図った。</p>		<p>引き続き、情報共有や日常業務の見直し改善を継続するとともに、管理水準の維持向上に努めていくこと。</p>

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

《再委託業務の実施状況》

業務名	契約業者名	実施月	契約方法
1 清掃業務	東亜産業株式会社	通年	指名競争入札
2 機械警備業務	帝国セキュリティ株式会社	通年	指名競争入札(複数年契約)
3 自動扉保守点検業務	三和シャッター工業株式会社	7・11・3月	随意契約(少額)
4 空調衛生設備保守点検業務	株式会社日立ビルシステム	9・3月	随意契約(特命)
5 オーバースライダードア保守点検業務	三和シャッター工業株式会社	7・11・3月	随意契約(特命)
6 消防用設備等保守点検業務	株式会社ヤシマ保全	9・3月	随意契約(少額)
7 舞台吊り物及び照明設備保守点検業務	株式会社池下電設	6・3月	随意契約(特命)
8 舞台音響設備点検業務	株式会社池下電設	6・3月	随意契約(特命)
9 除排雪業務	北野興業株式会社	12月～3月	指名見積合せ
10 自家用電気工作物保安管理業務	大崎電気管理事務所	通年	指名見積合せ
11 じん芥収集業務	一般財団法人札幌市環境事業公社	通年	随意契約(特定)

▼ 上記の11業務については、再委託を行い、当該契約に基づき、必要な指導、指示及び検査を行った。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回運営協議会 11月8日	・平成29年度上半期事業実施報告 ・要望事項検討、協力依頼
第1回利用者説明会 12月13日	・平成30年度事業についての説明 ・要望事項検討、協力依頼
第2回運営協議会 3月14日	・平成29年度下半期事業実施報告 ・要望事項検討、協力依頼
第1回業務・財務検査 3月15日	・業務報告及び計画、進行状況説明 ・業務・財務検査について
<協議会メンバー> 札幌人形劇協議会代表、東区市民劇団オニオン座代表、やまびこ座読み語りの会会員、札幌市子ども未来局子どもの権利推進課長、札幌市こどもの劇場館長、札幌市こども人形劇場館長	

施設の良好な維持管理のため、11業務について再委託を行い、すべて良好に業務を遂行されており、現在のところ特に目立った異常はない。

第三者に対する委託業務等の管理については適切に行われていることから、今後も継続して、施設の良好な維持管理に努めること。

運営協議会にて、協議会メンバーへ事業実施報告を行い、更に利用者からの要望検討や意見交換を行った。利用者からの生の声を聴くことで、運営上の改善点や相互協力方法を改めて確認し合う有意義な場となった。また札幌市による業務・財務検査を受け、業務改善に努めた。

運営協議会や利用者説明会を実施し、利用者のニーズ把握に努めており、評価出来る。引き続き、関係機関との連携を図り、より良い施設運営につなげていくよう努めること。

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施しており、公認会計士による外部会計検査を導入している。 ▼ 現金等の取扱いについては、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会財務規程に基づき、適正に処理を行っているほか、現金等取扱規程を整備し、事故、不祥事を未然に防ぐように努めている。29年度については、特に問題はなかった。 <p>▽ 要望・苦情対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 要望・苦情対応については、マニュアルを作成し、職員に周知している。 ▼ 市民からの要望・苦情については、意見箱を設置し、常日頃から市民の声を聞くことができる環境を整えている。29年度については、要望・苦情はなし。 <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 常日頃から業務実施に関する記録、帳簿等の整備、保管に努めている。(業務日誌、文書管理簿、事業計画書及び事業報告書、収支予算書及び収支決算書、現金出納簿等) ▼ 劇団及び観客、事業参加者に対し、アンケート調査を実施し、常に市民からの声に耳を傾けている。 	<p>市民から寄せられた要望、苦情等については、迅速かつ適切に処理できるよう事務フローを作成し、対応している。</p>	<p>資金管理、現金の適正管理については適切に行われている。</p> <p>意見箱を設置し、利用者からの声を施設運営に反映させる仕組みが整えられている。引き続き、マニュアル等を活用しながら要望・苦情に迅速かつ適切に対応すること。</p> <p>記録・帳簿等の整備、保管、事業等の報告については適切に行われている。 また、利用者のニーズを的確に把握するよう努めており、評価できる。</p>								
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 職員の勤務時間を適正に管理するため「勤怠管理システム」を導入し、法令遵守に結び付けた。 ▼ 職員の健康管理に係る取組みとして、産業医を導入した。 ▼ 法令に基づき、時間外労働または休日労働させる場合の労使協定(36協定)を労働者と締結し、労働基準監督署に届出た。 ▼ 労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に加入。また、必要に応じて適正に届出等を実施した。 ▼ 常勤職員のほか1年以上の有期雇用者に対して、1年に1回定期健康診断を実施したほか、再検査の費用負担を行った。 ▼ 正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から希望者を募り、内部登用試験を実施した。 ▼ 全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入した。 ▼ 法令上義務付けされていないが、法人として自発的に全ての常勤職員を対象にストレスチェックを実施した。 ▼ 業務内容に応じたシフト制勤務と、職員間連携を徹底することで時間外労働時間軽減に努めた。 	<p>労働関係法令に関する理解を深めるとともに、雇用環境の維持向上に向けた取組を行うことができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">労働関係法令順守のための取組みが積極的に行われている。独自にストレスチェックを行うなど、雇用環境の維持向上に向けた取組みも進められていることは評価できる。今後とも労働関係法令順守及び雇用環境の維持向上に努めること。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	労働関係法令順守のための取組みが積極的に行われている。独自にストレスチェックを行うなど、雇用環境の維持向上に向けた取組みも進められていることは評価できる。今後とも労働関係法令順守及び雇用環境の維持向上に努めること。			
A	B	C	D								
労働関係法令順守のための取組みが積極的に行われている。独自にストレスチェックを行うなど、雇用環境の維持向上に向けた取組みも進められていることは評価できる。今後とも労働関係法令順守及び雇用環境の維持向上に努めること。											

<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 毎日の点検、見回りを行っており、安全確保に努めている。 ▼ 拾得物の取扱いについては、遺失物法及び民法の一部に基づき、事務フローを作成し職員間で取扱いについて再確認し、適正な取扱いを行った。 ▼ 損害賠償保険は仕様に適合したものに加入した。 <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 上記の11業務は再委託を行い、実施した。 ▼ 敷地内の植木については、普段から美観の保持、安全面、近隣住民への配慮等の点から、適切な維持管理を行った。 ▼ 下記の項目について、札幌市の承認を得たのち、随時修繕を行った。 	<p>日頃より、適切な維持管理を行っている。特に問題なし。</p>	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>専門業者への再委託を含め、施設全体が良好に維持管理されている。</p> <p>また、防災については、防災計画を定め、訓練を行うなど、日頃からの備えを十分にしている。</p> <p>引き続き、市民サービスの向上及び施設の安全性に配慮した維持管理を行うこと。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>専門業者への再委託を含め、施設全体が良好に維持管理されている。</p> <p>また、防災については、防災計画を定め、訓練を行うなど、日頃からの備えを十分にしている。</p> <p>引き続き、市民サービスの向上及び施設の安全性に配慮した維持管理を行うこと。</p>															
	A			B	C	D																	
<p>専門業者への再委託を含め、施設全体が良好に維持管理されている。</p> <p>また、防災については、防災計画を定め、訓練を行うなど、日頃からの備えを十分にしている。</p> <p>引き続き、市民サービスの向上及び施設の安全性に配慮した維持管理を行うこと。</p>																							
<p>《修繕工事の実施状況》</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 75%;">修繕内容</th> <th style="width: 20%;">修繕完了日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>札幌市こどもの劇場照明操作卓用記憶再生フェーダ修理</td> <td style="text-align: center;">7/4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>やまびこ座男子便所小便器感知フラッシュ弁修理業務</td> <td style="text-align: center;">7/6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>札幌市こどもの劇場MDデッキ修理業務</td> <td style="text-align: center;">7/14</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>GHP定期点検</td> <td style="text-align: center;">8/28</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td>ワイヤレス受信機修理</td> <td style="text-align: center;">9/14</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td>断裁機修理業務</td> <td style="text-align: center;">3/23</td> </tr> </tbody> </table> <p>▼ 駐車場内での事故等に十分注意し、利用者以外の進入がないよう、車両の監視、誘導等に努めた。</p> <p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 防災計画を策定するとともに、7月・2月に防災訓練を実施した。 避難訓練実施…①7/20(参加人数6名) ②2/16(参加人数13名) 		修繕内容	修繕完了日	1	札幌市こどもの劇場照明操作卓用記憶再生フェーダ修理	7/4	2	やまびこ座男子便所小便器感知フラッシュ弁修理業務	7/6	3	札幌市こどもの劇場MDデッキ修理業務	7/14	4	GHP定期点検	8/28	5	ワイヤレス受信機修理	9/14	6	断裁機修理業務	3/23	<p>日頃より、駐車場を利用する車両や安全に対するの監視を行い、劇団利用者へは注意、安全確認を促した。</p>	<p>災害や利用者の傷病に対する対応については、常日頃より気を配り、突発的な事態にも対応できるよう事前の準備に職員で取り組み、不測の事態に備えている。</p>
	修繕内容	修繕完了日																					
1	札幌市こどもの劇場照明操作卓用記憶再生フェーダ修理	7/4																					
2	やまびこ座男子便所小便器感知フラッシュ弁修理業務	7/6																					
3	札幌市こどもの劇場MDデッキ修理業務	7/14																					
4	GHP定期点検	8/28																					
5	ワイヤレス受信機修理	9/14																					
6	断裁機修理業務	3/23																					

(4)事業の計画・実施業務	▽ 児童文化の普及及び子どもの健全育成のための公演・展示会・講座等の開催に関する業務 【公演事業】 巨大人形劇フェスティバル事業及びプロデュース人形劇巡回公演事業『「いいだ人形劇フェスタ2017」派遣交流事業を実施。国内最大級の人形劇の祭典である「いいだ人形劇フェスタ」にて、プロデュース制作した人形劇3作品と当劇場が育成している人形劇や人形浄瑠璃の作品を9作品を上演し札幌で活躍する子どもたちの姿を全国へ発信した。また、「野外巨大人形劇ピノキオ」では、市民参加型として飯田との合同公演として上演を行い、多くの観客へ人形劇の楽しさと魅力を伝えることができた。 夏休み、春休みの特別公演として、道外の専門人形劇団を招待し、札幌の子どもたちや市民の方々に良質な人形劇を提供することができた。また、夏休みワークショップを実施し、子どもたちの創造性を引き出し表現活動を体験できる機会とした。特に7月の海外特別公演では、オランダの人形劇団「ネビル・トランター」による「Mathilde マチルダ」を上演、3月には平昌冬季オリンピックを記念して、冬季オリンピックを経験した札幌と韓国の交流人形劇公演「チヨンソン アリラン」を実施した。	やまびこ座・こぐま座の人材育成を根幹とした取り組みは全国的に注目されており、今後も札幌の子ども文化の素晴らしさを内外に発信していく。 道内外だけでなく海外の人形劇団を招へいすることで、子どもたちをはじめとした市民が上質な作品に触れる機会を提供することができた。	<table border="1"> <tr> <td style="width: 25px;">A</td> <td style="width: 25px;">B</td> <td style="width: 25px;">C</td> <td style="width: 25px;">D</td> </tr> </table>	A	B	C	D													
	A	B	C	D																
【公演事業】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">主な公演</th> <th style="text-align: center;">ステージ数</th> <th style="text-align: center;">観客数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海外特別公演</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">215</td> </tr> <tr> <td>夏の特別公演</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">929</td> </tr> <tr> <td>平昌オリンピック記念韓国交流人形劇公演</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> <tr> <td>その他公演事業</td> <td style="text-align: center;">214</td> <td style="text-align: center;">18,091</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">222</td> <td style="text-align: center;">19,335</td> </tr> </tbody> </table> 【講座事業】 育成事業は、人形劇、児童劇、人形浄瑠璃を中心にこぐま座と連携し合い実施した。初心者のための人形劇講座には、昼コースをやまびこ座で実施。新規4劇団の育成をした。また、人形劇文化の担い手の育成を行った。東区市民劇団育成事業は、結成10周年を迎え10月に「オニオン座まつり」を実施し、地域に根ざす市民劇団の成果発表の場となり、また3月実施の第10回公演児童劇「とんでる教室」のプロデュース公演につながった。 また、人形浄瑠璃講習会、義太夫講習会については、共催団体である「さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座」とともに積極的な連携を図り、文化の担い手を継続し養成した。	主な公演	ステージ数	観客数	海外特別公演	2	215	夏の特別公演	5	929	平昌オリンピック記念韓国交流人形劇公演	1	100	その他公演事業	214	18,091	計	222	19,335	継続して人材育成事業に力を注ぐことができた。今後も子どもから大人まで、より多くの市民が関わっていける受け皿を構築することで、札幌の文化の将来を担う人材育成へとつなげていく。また、劇団の自立を支援しながら、良質な作品づくりと、公演活動の活性化を目指していく。	大人向け、子ども向け両方の事業を実施するとともに、道内外及び海外の人形劇団による公演を取り入れるなどしており、児童文化の普及や、子どもの健全育成、担い手の育成に努めている。 昨年に引き続き、児童会館へ職員を派遣し、人形劇クラブの指導及び育成を行うことは、人形劇の裾野拡大において有意義である。 市民や企業等との連携を図り、協賛を得て事業を実施していることを評価する。 新規の劇団を4団体も育成したという成果を上げていることは高く評価できる。引き続き、安定的かつ魅力的な公演を提供できるよう、劇団育成に関する支援を行うこと。
主な公演	ステージ数	観客数																		
海外特別公演	2	215																		
夏の特別公演	5	929																		
平昌オリンピック記念韓国交流人形劇公演	1	100																		
その他公演事業	214	18,091																		
計	222	19,335																		

【子どもの舞台表現活動の推進】

子ども対象事業は、通年での長期事業として伝統文化関係事業(ざ・にんぎょうじょうりユースクラス、義太夫講習会中高生の部)、演劇関係事業(やまびこ座遊劇舎、劇☆やまびこ座YOUTH)を実施した。ざ・にんぎょうじょうりユースクラスと義太夫講習会中高生の部を同時に実施。短期体験型としてはこども舞台体験プログラム『ふれアート』(人形浄瑠璃体験)を実施し、専門の講師による本物の舞台体験機会を数多くの子どもたちに提供することができた。また、こぐま座と連携し中学生及び高校生を対象としたパペットユーススクールを実施し、指導・育成を行った。

前年度に引き続き札幌市内児童会館(6館)と連携し、人形劇クラブの指導及び育成を行った。各児童会館の子どもたちだけでなく、中心となって関わる児童会館指導員の専門性を高める事業となっている。

【地域との共生および関係機関との連携】

地域連携事業として、指導派遣である「元町北小学校アウトリーチ事業」「砂川人形劇指導」など、学校現場や他の施設への人形劇等の指導を実施した。また、やまびこ座近隣諸団体と連携し地域向けの「やまびこ座夏祭り」を実施し好評を得た。連携した地域の皆さんと、今後もつながりを強化し、次年度のやまびこ座30周年記念事業へつなげていく。

やまびこ座・こぐま座が育成してきた子どもたちが中心となり、専門スタッフやアーティストと連携し巨大人形劇を制作。積極的に外部団体との連携を図り、札幌国際芸術祭参加作品として、野外巨大人形劇「中島公園百物語」、雪まつり関連事業として、雪像を舞台に冬の野外人形劇「宮沢賢治～雪わたり」を上演。中島公園のロケーションを活かし観光振興も視野に入れた取り組みを行い、市民のみならず広く、やまびこ座こぐま座両施設ののPRIに努めた。

(延べ人数)

	講座名	H28実績	H29実績
1	東区市民劇団育成事業	495	344
2	やまびこ座プロデュース公演	957	720
3	人形浄瑠璃講習会	253	178
4	義太夫講習会(一般の部)	302	254
5	やまびこ座遊劇舎	707	839
6	劇☆やまびこ座YOUTH	588	671
7	ざ・にんぎょうじょうりユースクラス	211	219
8	義太夫講習会(中高生の部)	0	0
9	こども舞台体験プログラム「人形浄瑠璃三人遣い体験」(2日間)	80	123
10	こども舞台体験プログラム「人形・大道具づくり体験」(2日間)	55	62
11	こども舞台体験プログラム「鳴物体験&舞台裏方&ステージ発表会」(2日間)	113	102
12	砂川人形劇体験プログラム	782	530
13	人形劇クラブの指導および育成	653	1,453
14	初心者のための人形劇講座	177	245

各事業に参加した子どもたちが、生き生きと舞台表現活動に取り組んでいる。また、会場をやまびこ座だけでなく、児童会館など他の会場で行うことで、活動の裾野が拡大している。

連携事業に取り組むことで、両施設が、あらためて児童文化の発信拠点としての役割を意識することができた。次年度もより一体的な運営を目指し、発展的かつ特色ある事業展開をしていく。

全体的に事業参加者延べ人数は前年から7%程度増加した。安定的な講座を実施するため、内容を充実するとともに、魅力ある広報活動に努めていく。

大人対象事業参加者は減少しているが、こども対象事業参加者は増加している。参加者の環境変化も要因の一つではあるが、大人でも参加しやすい事業日程を設定するよう努める必要がある。また、新規参加者獲得に向けて、広報宣伝活動を強化していく。

▼ 劇場の公演活動の充実や劇団支援、地域連携の活性化を目的として協賛金を募る「事業サポーター制度」を実施。
結果、16件の劇団・個人からの協賛と、2件の企業協賛を得た。

市民とともにつくる劇場、地域に根差した劇場運営の観点から、一定の成果が表れていると捉え、今後もこの取り組みを継続、強化していく。

▽ 子どもに関わる舞台活動の拡充に関する情報収集・調査研究・立案及び提供に関する業務

▼ 札幌市内及び北海道内における児童文化関係団体や人形劇協議会等の活動調査、全国の公立人形劇場、児童文化活動の調査を行い、広い視野に立った子どものための舞台活動の研究に努める。また、関係機関の情報収集に努め、資料の整理を随時行い、市民からの要望があれば、閲覧可能とした。

▼ 被災地支援活動を継続実施。劇場という文化施設だからこそできる支援や、人々や地域の活性化につながる文化の重要性を再認識する事業を継続実施。5月のゴールデンウィークにやまびこ座、こぐま座にてチャリティー公演を実施し、8月、9月、10月、11月、1月、2月、3月に福島県内各施設(幼稚園、保育園、公共施設、仮設住宅等)にて人形劇、伝統人形芝居の公演を実施した。また「やまびこ座、こぐま座東日本大震災復興支援プロジェクト」との連携により人形浄瑠璃や人形劇の体験機会を提供することができた。また、今年度も福島県内にて、人形劇団や被災地の市民グループ、公共施設、そして当財団の児童会館や他課職員と連携を図り、地域交流イベントを実施。特に郡山市日和田町の「高倉人形復活」は現地でも大きな話題と期待を呼んでいた。今後も被災地の声を汲み取った支援を行っていく。

▼ 札幌国際芸術祭の一環として、北海道大学と協働し、オホーツク文化の研究者と人形劇師によるセミナーとシンポジウムを開催した。講演会、トークセッションの他、やまびこ座・こぐま座がプロデュースする人形劇の「OKHOTSKー終わりの楽園」の一部を上演するなど広く市民にPRを行う機会になった。

▼ 3月に砂川市地域交流センターゆうで実施された砂川人形劇フェスティバルに参加。こひつじ座「ゼロ弾きのゴーシュ」ややまびこ座・こぐま座プロデュース、北海道の人形劇シリーズPart2「モイモイ・オーシャン・パラダイス」を上演した。

▼ 「人形浄瑠璃を通じた国際交流事業」を実施。7月に札幌国際プラザからの依頼を受け、アメリカ・ポートランド市高校生(15名)と「ざ・にんぎょうじょうるりユースクラス」の若者同士の交流機会を創出した。また、10月には東海大学国際コミュニケーション学科からの依頼を受け、海外留学生と日本の学生が人形浄瑠璃を通して交流を図ることができた。

やまびこ座とこぐま座だけでなく、活動協会全体で支援活動を行うことで、今後につながる支援活動を実施することができた。

人形劇という想像の枠を超え、人形劇の可能性を広げるものとなった。人形劇が子どもだけでなく、芸術性豊かな作品として大人へも感動を与える作品となった。

人形浄瑠璃という日本の貴重な文化体験活動を通じて、今後も国際交流に協力していく。

関係団体等の調査や情報収集、資料の公開等、舞台活動の拡充に取り組みされており、評価できる。
引き続きプロデュース人形劇をはじめ、市民ニーズを捉え、人形劇文化の発信に努めること。

▽ 劇団育成支援に関する業務

▼ 劇団支援策として「札幌市こどもの劇場やまびこ座支援事業」を実施した。各劇団のホール・研修室・美術工作室・会議室利用について、使用料の一部を負担した。

※申請件数177件、利用区分件数942件

▼ 12月に利用者説明会を開催した。劇団側からの要望を直接聞くことができた。

▼ 市民ボランティア登録者が53名。読み聞かせ、スタンプラリー指人形制作、公演時の受け付け、会場整理、夏まつり等の事業スタッフとして活躍した。

▽ 人形劇等に関する指導、相談業務

▼ 人形劇、演劇等の制作のための技術的指導ができる職員を配置し、日頃から人形劇、児童劇等について、指導、助言ができる体制づくりに努めている。公演時や練習時等において、アドバイスをを行い、劇団側と協働してより良い作品づくりを目指している。また、各種講座等を実施し、より多くの市民の方々が児童文化に携わり、担い手として育つことができる環境を整えている。

申請件数は約20%、利用区分件数は約26%増加した。支援事業の成果の表れと考えられる。今後も継続して取り組んでいく。利用者説明会を活用し、劇団側への十分な説明を再度行い、施設の利用促進につなげていく。

公演や練習、リハーサル、製作時など、普段からアドバイスを行っていくことで劇団側と信頼関係を築き上げ、より良い作品創造に繋ぐことができた。

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

▼ 公演回数・観客数 (回・人)

	H28実績	H29計画	H29実績
上演回数	207	200	222
出演者数	12,097	10,000	11,141
観客数	17,505	18,000	19,335
上演1回当たりの観客数	84.6		87.1

▼ 室別利用状況 (件)

		H28実績	H29計画	H29実績
ホール	件数(件)	721	700	682
	人数(人)	29,602	28,000	30,476
	稼働率(%)	82.5		79.5
会議室	件数(件)	398	400	411
	人数(人)	3,021	2,000	4,395
	稼働率(%)	45.5		47.9
研修室	件数(件)	536	550	577
	人数(人)	9,241	7,600	9,894
	稼働率(%)	61.3		67.2
美術工作室	件数(件)	625	550	639
	人数(人)	8,544	7,000	8,997
	稼働率(%)	71.5		74.5
ロビー等	人数(人)	11,208	10,000	10,398
研修見学	人数(人)	304	400	143
合計	件数(件)	2,280	2,200	2,309
	人数(人)	61,920	55,000	64,280

▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件

▽ 利用促進の取組

▼ 主催事業、主催公演の際、他の公演、事業への呼びかけを行い、宣伝等に努めた。

上演回数は、目標数である200ステージを1割以上増加させることができた。市民ボランティアによる「やまびこ座たのしませ隊」や物品販売のオリジナルグッズ製作による市民サービスを継続した。次年度も継続実施によるリピーターの増加に努め今年度も利用者総数が6万人を超える結果となり、毎年増加している。今後も、利用者増へ向け絶え間ない努力を続けていく。

ホールの利用状況については、件数は減少したが人数は増加した。他の貸室についても全ての貸室で件数・人数ともに増加した。今後も支援事業費を活用し、育成団体にとって利用しやすい施設づくりを推進していきたい。

上演内容としては、人形劇：児童劇＝7.7:2.3の割合となった。人形劇だけでなく演劇や伝統文化を実践する担い手が、子どもたちに対し良い文化を提供する意識を育むことができた。
・市民に対する児童文化の発信を継続的に行っていくため、今後も次世代の担い手やボランティアの育成に積極的に取り組んでいく。

A	B	C	D
上演回数、利用者総数ともに、計画を大きく上回る成果を挙げている。また、市民ボランティアとの協力関係が構築されており、ともにサービスの向上にも高く評価できる。			
引き続き市民サービスの拡充をはかるとともに、公演の魅力を増加させ、さらなる利用拡大に努めること。			

<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ ホームページのアクセス数は52,556件で、前年度の60,559件と比べて87%という結果になった。また、新規のアクセスが79%と、前年よりも大きく増加した。リピーターが総アクセス数の約2割しかいない状況を考えてとまだまだ施設の周知が足りない現状が浮き彫りになった。今後は新規利用者だけでなくリピーター確保に向けたPRに努めていきたい。 ▼ 希望者にはメール通信を発行し、主催事業などの広報を行った。 ▼ SNSによるリアルタイムでの情報発信を行った。 ▼ 定期的に(年6回)劇場通信(公演情報、事業案内等)をこぐま座と共同で発行し、市内公共施設、関係機関、児童会館等、及びやまびこ座近隣小学校4校へ配布した。また、公演ごとに来館者へ配布した。 ▼ 「広報さっぽろ」に毎月公演、事業情報を掲載した。 ▼ 公演情報を各報道機関等に提供する等、宣伝活動に努めた。また、チラシ・ポスターを作成し、市民への配布のほか、館内掲示を行った。 ▼ (公財)さっぽろ青少年女性活動協会発行のさっぽろ・こども情報誌「あそぼ」に、公演情報を毎号掲載した(年6回発行)。 <p>▽ 引継ぎ業務 (前回から継続指定のため、引継業務なし)</p>	<p>広報活動は、劇場業務の中でも重要な役割を担っており、利用人数に大きく反映されるものである。今年度はHPのアクセス数が前年度比13%も減少した。利用人数が増加していることを考慮すると、チラシや劇場通信といった紙媒体で公演等の情報が発信できたといえる。今後はHPの更新も含めて、利用者が受け取りやすい媒体を選択できるように、コンテンツを充実させていく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> 利用者のニーズに合わせ、あらゆる広報手段を活用して、積極的に情報発信をおこなっている。引き続き、紙媒体、ホームページ、SNS、メール通信それぞれの強みを活かした情報発信の手法を検討し、効果的な広報活動に努めること。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	利用者のニーズに合わせ、あらゆる広報手段を活用して、積極的に情報発信をおこなっている。引き続き、紙媒体、ホームページ、SNS、メール通信それぞれの強みを活かした情報発信の手法を検討し、効果的な広報活動に努めること。							
A	B	C	D												
利用者のニーズに合わせ、あらゆる広報手段を活用して、積極的に情報発信をおこなっている。引き続き、紙媒体、ホームページ、SNS、メール通信それぞれの強みを活かした情報発信の手法を検討し、効果的な広報活動に努めること。															
<p>2 自主事業その他</p>															
<p>▽ 自主事業</p>	<p>▽ 物品販売事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 物品販売事業 市民サービスの一環として、マスコット人形や人形劇キット、手づくりおもちゃ、オリジナルグッズ等の販売を各人形劇公演時に実施。集客の一助、リピーターの確保等につなげ、公演の活性化を図る。 実施期間:平成29年4月1日～平成30年3月31日 販売商品:①手づくりおもちゃ(竹とんぼ、ガリガリとんぼ、ビュンビュンごま) 金額:200円 ②ハンドパペット 金額:150円～700円 ③書籍・オリジナルグッズ(やまびこ王子ラバーストラップ、ピンバッジ等) 金額100円～500円 【販売実績】 ①手づくりおもちゃ:販売個数0個 売上額0円 ②ハンドパペット:販売個数248個 売上額141,550円 ③書籍・オリジナルグッズ:販売個数232個 売上額73,650円 総合計:販売個数480個 売上額215,200円 <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再委託、物品の調達等を行うに当たり、札幌市内の企業等を積極的に活用している。また、夏まつりにおいて、近隣の福祉施設と連携し福祉施策への配慮に努めた。 	<p>市民サービスの一環として当事業を開始し、9年目を迎えた。前年度に引き続き販売商品の製作等、他団体の協力を得て実施した。今年度はハンドパペットの種類を増やした結果、売上金額が前年度比136%と大きく増加した。次年度はやまびこ座が30周年を迎えるので、その記念になるグッズを作成・販売し、休館期間分の収入も補えるよう取り組んでいきたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> 子どもが劇場、人形劇等の活動に対して、興味を持つことにつながる事業である。また、今年度は、商品を増やす取り組みにより、売上げ増加につながり、評価できる。引き続き、利用者のニーズも取り入れながら、より発展させることに努めること。 </td> </tr> <tr> <td colspan="4"> 引き続き、市内企業及び福祉施設への配慮をおこなうこと。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	子どもが劇場、人形劇等の活動に対して、興味を持つことにつながる事業である。また、今年度は、商品を増やす取り組みにより、売上げ増加につながり、評価できる。引き続き、利用者のニーズも取り入れながら、より発展させることに努めること。				引き続き、市内企業及び福祉施設への配慮をおこなうこと。			
A	B	C	D												
子どもが劇場、人形劇等の活動に対して、興味を持つことにつながる事業である。また、今年度は、商品を増やす取り組みにより、売上げ増加につながり、評価できる。引き続き、利用者のニーズも取り入れながら、より発展させることに努めること。															
引き続き、市内企業及び福祉施設への配慮をおこなうこと。															

3 利用者の満足度					
▽ 利用者アンケートの結果		アンケート結果から全体的に見て、総合満足度や接遇に関する満足度もほぼ100%と好評であった。これに甘んじることなく、今後も継続して市民サービスの意識を高め、利用者のニーズを把握し、観劇する環境をソフト面でもハード面でも充実させていきたい。			
		A	B	C	D
実施方法	観客用アンケート、利用者(劇団)アンケート、事業別参加者アンケートをそれぞれ作成し、平成29年4月～平成30年3月の期間で実施した。(※アンケート方法については、来館者へアンケート用紙を配付し、回収した。記名方式。)	<p>観客・利用者(劇団)・事業別参加者と3種類のアンケートを実施しており、それぞれのニーズを把握し、よりよい施設運営に反映させようと努力しており、評価出来る。</p> <p>アンケートの結果からは、観客、利用者、事業参加者のほぼ全てが職員の対応や事業内容に対して満足していることが分かる。これは指定管理者の努力の結果であると考えられる。引き続きサービス水準を維持するよう努めるとともに、少数の意見も拾い上げて、より良い施設となるよう努力すること。</p> <p>広報手段として来館者の口コミ情報が最多であることから、単方向の情報提供よりも双方向の情報共有が今後、望ましいと考える。ホームページやメール通信など単方向になりがちなツールを、双方向のやり取りが出来るようなものに変化させていく工夫していく。来館した方がまた来たいと感じる劇場づくりに努めていきたい。</p> <p>どの公演でも作品内容についての感想を書いてくれる方が多い。また、観客が希望する演目を劇団側に伝えることで、今後の作品創りに活かすようアンケートを活用していきたい。</p> <p>劇団アンケートの結果から、職員の対応や支援体制について高い評価をいただいた。今後も引き続き、利用者と職員がよりよい関係を築いていけるよう支援していきたい。</p>			
結果概要	アンケート結果を集約し、利用者の意見、要望、苦情、ニーズ等を把握し、施設設備、業務等の改善に反映させるよう努める。なお、回収したアンケートについては、札幌市個人情報保護条例に基づき、取り扱いに十分留意し、保管整理している。				
利用者からの意見・要望とその対応	<p>【観客用アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回収1,870枚 ・回答者については、全体の3分の1を占める30代・40台を中心に、各年代で平均して回答してくれていた。性別では女性が3分の2となり、前年よりもやや男性の回答が減少した。家族で観劇に来ると、母親が記入している姿が多かったことから偏りが生まれたものと推測される。 ・公演情報の取得方法としては、「友人、知人」の口コミが最も多く(29%)、続いて「ホームページの利用」(15%)という結果であった。「劇場通信」、「チラシ・ポスター」、「広報さっぽろ」が次いで選ばれていることから、紙媒体での定期的な広報の効果が出ていると考えられる。 ・観劇環境については、職員の対応が99.7%、劇場の設備についても99.5%がとても良い、良い、ほぼ満足している(「とても良い」「良い」「普通」の合計)との高い評価を得ることができた。 ・初めての来館者が30.5%で、他69.5%はリピーターである。中でも11回以上の来館者が17.0%と昨年よりも6%増加した。スタンプラリーやたのしませ隊事業による効果が大きいと考えられる。 <p>【利用者(劇団)アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回収50枚(回収率87.7%:57劇団中50劇団) ・施設サービスについては、無記入を除いて、職員の対応・施設の利用しやすさともにほぼ100%の方から、とても良い・良い・ほぼ満足している(「とても良い」「良い」「普通」の合計)との評価を得ることができた。 ・施設の重要性への理解、文化の発展を期待する意見、職員へのねぎらいの声が多かった。 ・劇団から、広報や接遇に対するより良い方法を教えて欲しいという意見が多く、児童文化を発信していくことに意欲的な方が多いことが伺える。 <p>【事業別参加者アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催事業より、13事業(初心者のための人形劇講座、東区市民劇団育成事業、遊劇舎、劇☆やまびこ座 YOUTH、ざ・にんぎょうじょうりゆうリユースクラス、こども舞台体験プログラム「ふれアート」、プロデュース公演、やまびこ座読み語り(の会等)についてアンケートを実施した。237人回答。 ・事業内容については、無記入を除き、参加者の100%がとても良い、良い、ほぼ満足している(「とても良い」「良い」「普通」の合計)との評価をしており、講習内容については十分に満足してもらえたことが伺える。また、職員の対応や講師についても、無記入を除くと100%の参加者がとても良い、良い、ほぼ満足している(「とても良い」「良い」「普通」の合計)との評価だった。参加者、講師、職員がそれぞれ良好な関係を築くことができたことで事業内容の充実感につながったと考えられる。 				

4 収支状況				次年度以降についても公的助成の積極的な活用や地元民間企業や市民からの協賛金を募るための事業サポーター制度は引き続き実施したい。安定的事業費の確保を目指すための方策を今後も検討していく。	A	B	C	D
▽ 収支 (千円)								
項目	H29計画	H29決算	差(決算-計画)	計画していた助成金が不採択・減額になったものの、活動協会内の他課との連携や他の関係団体と共催、協力することで実施。今後も将来を見据えた事業の取り組みを意識しながら他の関係機関との連携を強化し、共催事業の実施等、経費面においても効率的な事業の組み立てを積極的に行っていきたい。	事業の見直しを行うなどすることで、収入が減少したにも関わらず、収支の差を抑えられたことは評価できる。しかし、依然として収支がマイナスであることから、安定的な運営に向け、改善に努めること。			
収入	67,424	63,601	▲ 3,823					
指定管理業務収入	67,174	63,386	▲ 3,788					
指定管理費	43,194	43,194	0					
利用料金	7,200	6,627	▲ 573					
その他	16,780	13,565	▲ 3,215					
自主事業収入	250	215	▲ 35					
支出	69,556	65,178	▲ 4,378					
指定管理業務支出	69,326	65,055	▲ 4,271					
自主事業支出	230	123	▲ 107					
収入-支出	▲ 2,132	▲ 1,577	555					
利益還元	20	92	72					
法人税等	0	0	0					
純利益	▲ 2,152	▲ 1,669	483					
▽ 説明								
<ul style="list-style-type: none"> ▼ 利用料金収入は、利用料金については、利用件数の減少などから、573千円の減収となった。 ▼ その他収入で、受取助成金が当初予算から減となった。理由としては想定より不採択や減額が生じたため。その分、支出を抑え収支バランス確保に努めた。 ▼ 指定管理業務支出は、支出については、助成金等収入の減額により、事業の見直しを行うことで当初計画より555千円支出を抑えることができた。 ▼ 自主事業における利益還元が92千円だった。 ▼ 収入の減額を勘案し、支出の抑制に努めたが、純利益は▲1669千円となった。 								

<確認項目> ※評価項目ではありません。		適	不適
▽ 安定経営能力の維持	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 当団体の財務状況等は、各事業実施時において収支バランス等を常に把握することで、将来へ向けた安定経営能力は選定時より向上している。 	適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼ 情報公開請求が0件あった。 ▼ オンブズマンの現地調査に対応した。 ▼ 協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。 	適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>平成29年度は、第3期指定管理期間の最終年度として、この4年間を総括し、次期指定管理に向けての新たな方向性を構築する年となった。札幌国際芸術祭やさっぽろ雪まつり事業等の他団体との連携強化による新たな事業展開への試みを実現した年でもあった。さらに長野県飯田市で開催された「いいだ人形劇フェスタ」の招へいを受け、札幌の子どもたちと地元の子どものための合同作品創りと言った全国規模での取り組みも行われた。札幌はもとより、全国に向けて情報発信できたことは非常に大きな成果であった。今後、益々やまびこ座、こぐま座に対し、人形劇等における子ども文化の牽引力への期待や要望が高まると予想される。また、子ども文化を包括的に捉えた新たな取り組みとして、中島児童会館とこぐま座の一体運営におけるセンター的機能の強化、ボランティア育成事業こどものまなび塾の開講、児童会館と連携した人形劇クラブの育成事業を開始したことは、これからの劇場のあり方のひとつの形を示したと言える。</p> <p>①公演事業については、目標である200ステージを達成することができた。人形劇、児童劇等を軸に市内の市民劇団、全国の専門劇団が中心となり、多彩なプログラムを提供することができた。</p> <p>②人形劇、児童劇、人形浄瑠璃を中心とした人材育成事業は、小学生、中高生、一般の初心者、経験者といった各対象ごとの実践講座を実施し、さらにはその各講座が連動することで一連のつながりを持たせた事業展開ができた。特にこの4年間の子どもの成長は目覚しく、下級生への指導補助を担ったり、事業スタッフ等として活躍しており、将来の子ども文化を担う人材につながることを期待している。また、29年度は東区市民劇団オニオン座が10周年を向かえ、記念事業を実施した。</p> <p>③良質の人形劇、児童劇作品を発信する創造型のプロデュース事業は、新たな挑戦を積極的に行った。特に野外巨大人形劇では約4,800名の市民の皆さまに足を運んでいただき、やまびこ座、こぐま座の存在価値を市民に広める機会となり、新規観劇者の開拓につながった。また、プロデュース人形劇巡回公演を道内2カ所(砂川市、岩見沢市)にて実現した。今後も重点項目として積極的な文化発信を行い、児童文化の普及につなげていきたい。</p> <p>④今期指定管理業務の目標としていた市民ボランティアの育成および積極的な活用は、この4年間の大きな成果と言える。特に観客数増加を図るための「やまびこ座たのしませ隊」「指人形ボランティア」の効果は大きい。更には、他の事業スタッフとしても積極的な協力を得られた。</p>	<p>地域活動等事業</p> <p>1 夢と笑顔と人が集いあう劇場づくり 劇場という空間が特別なものではなく、地域に開かれた親しみある場として、子どもから大人まで多くの市民が集い合い、夢や笑顔を交わすことで生まれる創造的な取り組みを応援し、人や地域の活性化に繋げる。</p> <p>施設運営等事業</p> <p>1 人形劇等の裾野を拓いていくための人材育成の取り組み 劇場の根幹である人材育成を柱に、時代のニーズに合わせ継続的かつ発展的な事業展開を図る。将来の札幌の文化発展を見据え、人形劇等の裾野を広げる事業を積極的に実施する。</p> <p>2 札幌の子ども文化の創造と発信による新たな可能性 子ども文化の創造・発信拠点としての中心的役割を担う。やまびこ座・こぐま座がプロデュースし、育成する劇団や専門アーティスト等との連携した取り組みによって、より良い作品の創造、普及に努める。また、国際交流や観光振興等を視野に入れた新たな取り組みによって、大きな可能性を秘めた事業展開に繋げていく。</p> <p>3 やまびこ座、こぐま座、中島児童会館との連携による事業の拡充 やまびこ座、こぐま座、中島児童会館という歴史的価値の高い、貴重な3施設が連携を図り、子どものための専門施設として、より効果的な運営を実現する。それぞれの施設の持つ特性を生かしながら、子どもの健全育成を踏まえた人材育成事業や全市的なイベント事業等の拡充、特色ある事業内容を全国に向けて情報発信する。</p> <p>4 劇場スキルを生かした財源確保と効率的かつ効果的な運営 指定管理費と併せ、公的助成や民間資金の活用による発展的な事業展開を図る。また、劇場の専門スキルを生かした関係機関との事業連携や育成指導を積極的に図り、財源確保に繋げる。</p> <p>5 子ども文化施設としての社会的役割と使命 全国でも数少ない子どものための公立文化施設として、やまびこ座への期待は非常に大きい。文化力による社会的役割を明確にし、未来ある子どもたちの夢と可能性を拓いていくことが劇場の使命と考える。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>施設の維持管理、貸館業務、事業の実施、自主事業、及び施設の管理運営については全般的に適切な業務の執行がなされている。</p> <p>人形劇を始め、演劇、伝統芸能、各種育成講座や被災地支援の文化活動など、幅広い事業展開をしており、札幌市の児童文化の拠点施設として、その普及・促進に取り組んでいると評価できる。</p>	<p>施設の設置目的を達成するため、今後とも制作団体の育成を行っていく必要があることはもちろんのこと、更なる利用者の増加及び収入の安定を図るため、引き続き市民ニーズを検証するとともに、より魅力的な創意工夫ある事業を展開していくこと。</p>